

※首都圏直下・南海トラフ等大型地震は前兆検知から発生までの日数は数日の可能性が高いですが、No.1778前兆は30年の観測歴上最長継続の最大に難解な変動です。No.1778前兆につきましてはPHP新書「地震予報」に記したため、読者の皆様に出版後の前兆変動の変化について続報公開しています。No.1778以外の他の地震前兆につきましては本HPでは公開できません。E-mail またはFAXで配信している観測情報でのみ公開しています。本観測研究をご支援下さる皆様にNo.1778以外の別の地震前兆変動の有無や発生推定内容等の観測情報を配信しています。観測情報配信の「公開実験」に是非ご参加下さい。2024.1/1発生の「能登半島地震M7.6」につきましては、2023.12/31の午前11時に、M7.3±0.5の地震が1/2±2に発生する可能性「予報」を観測情報配信参加の皆様に配信し、地震発生に間に合いました。No.1778に関しては解説資料の32頁～35頁を参照下さい。※2024.8/8発生の日向灘M7.1地震は、7/27 高知観測点の複数観測装置に前兆変動極大が綺麗に観測され（前兆規模M6.1±0.5、海深補正M0.9±0.3、推定規模M7.0±0.5）、前兆極大から地震発生までの日数はプレート境界型の遅いパターンTmap=12日で発生致しました。またその後は一切大型地震が推定される前兆変動は観測されておりませんでしたので、南海トラフ巨大地震発生の可能性は考えられないことを、毎日、高知観測点全観測基線波形を掲載して、日々配信の観測情報で配信公開致しました。皆様の本観測研究に対するご支援（情報配信参加）を賜りたくお願い申し上げます。

No.1778 CH26 6/25.6～変動形態変化 Stage-35 が示した 7/3±3 に地震発生ではなく 極大出現の可能性・先行変動とした 5/28.4 を初現とすると 7/18±3 発生の可能性示す

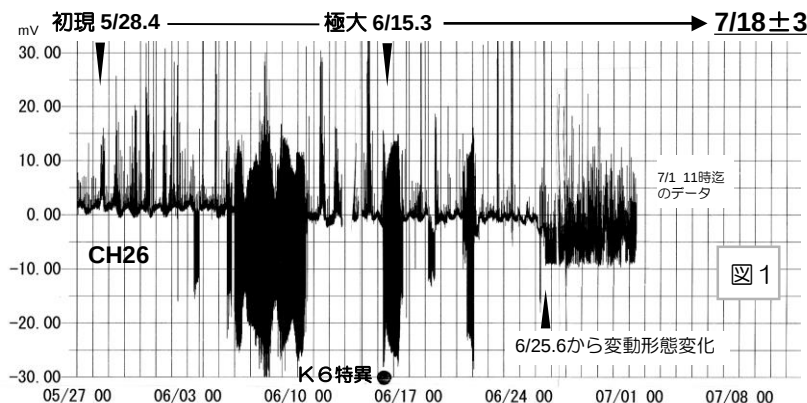


図1のCH26は、基線から上向きのみの変動が噴火型変動。基線上下変動が顕著特異変動。両変動が混在補完するような形態で出現しており、出現している噴火型変動はCH26変動の一部であり、火山噴火の可能性を示すものではないと考えます。極大は高知観測点 K6に短時間の無振動基線系特異が出現した6/15認識。基線が短く途切れている部分2ヶ所は東電の停電で欠測です。

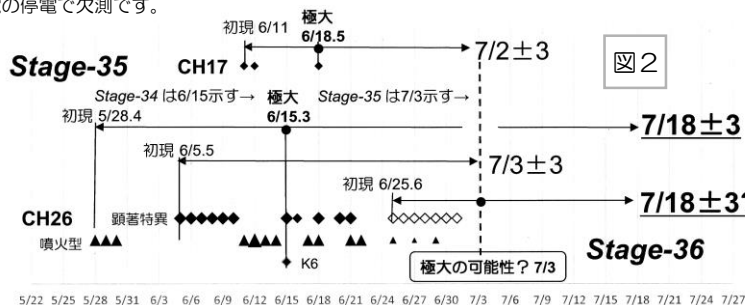
※ E-mail・FAXで配信している観測情報では、本続報内容は6/30に既に配信報告済ですが、HP担当の方が海外出張であったため、HPでは大変遅くなりました。どうかお許し下さい。

◆前続報までは Stage-35 が示す 7/3±3 に対応地震発生の可能性があることを報告しておりました。しかし、その場合にはCH26の変動が6月末までに静穏化するはずでした。実際は静穏化せず、現在も継続出現しています。従いまして 7/3±3発生の可能性は否定されます。

◆図1のCH26基線を参照下さい。6/25.6から、特異変動の形態に変化が認められます。この変動変化を初現とし、Stage-35 が示した、7/3±3 に極大が出現した場合は、7/18±3 を示すことになります。

◆前続報まで Stage-35 の先行変動と認識していた CH26-噴火型変動の初現 5/28.4 を通常の地震前兆時間変化経験則の初現と再認識しますと、Ttap:Tmap=20:13 経験則より、7/18±3 を示すことになります。

◆以上のことから、7/3±3 対応地震発生の可能性は完全否定され、7/18±3 対応地震発生の可能性が示唆されることになります。7/3±3に極大が観測されるか重要です。続報予定です。



●推定領域：図3の実線領域内＝大枠推定領域
斜線領域＝火山近傍で可能性が考えやすい推定領域

●推定規模：主震＋余震型の場合＝M8.0±0.3（M7.7～M8.0の可能性高い）
または複合地震活動：複合の場合はM7以上地震の断層長Lkmが
Log L=0.5M-1.8 (Utsu.)式で合計で110～150km程度となる様な複合地震活動の可能性有（例：M7.1±0.3＋M7.3±0.3 等）

※地震発生に伴う震源に近い火山での噴火の可能性は現状では低い

●推定期間：7/18±3 ※7/3±3に極大が観測された場合 出現の有無は続報予定
※現認識推定が誤りである場合、また現推定を覆す変動出現の場合も続報予定

○推定地震種：震源浅い日本列島陸域地殻地震

○推定発生時刻：午前 8時30分（または午前9時）±2時間 or 午後 6時±3時間
（複合地震では当てはまらない場合有）

※18年継続する観測歴上最長の変動は観測例がない初めての体験で、解析が極めて難しいため推定に誤りがある可能性は否めません。お許しください。対応地震が推定に近い内容で発生した場合でも被害が少ないことを祈ります。

参考）6/25岩手沖M7.2＝変動極大5/30（プレート境界型遅いパターンTmap26日）6/26千葉北東部M5.8
山梨東部M5.6は、どちらも変動極大6/21（プレート境界型通常Tmap5日）に観測致しました。

影響局からの検知ドーナツ円
（領域推定の作図線）を消した図で表示

図3

